

被災状況	
<p>死者：8,604人 (5/12の地震による犠牲者148人を含む。男性3,834人、女性4,736人、不明44人) 負傷者：16,808人、カトマンズ盆地の避難者：合計41,890人(5/9～継続) 家屋被害：全壊488,789戸 半壊269,109戸 (5/18) ※ 5/12 12:50にKathmanduから北西76kmを震源地とするM7.3の地震が起きました。この地震により、政府機関・自治体の庁舎ビル・家屋などの倒壊、地滑りによる道路のアクセスの制限などがあり、一時的に避難している住民もいます。</p>	
被災された方々の健康状態／支援ニーズ	
<p>外傷</p> <ul style="list-style-type: none"> 5/12の地震により外傷患者が増加し、負傷者と外傷患者のマネジメントが緊急ニーズである。 現在のところ、追加の海外緊急支援の要望は出されていない。 負傷・リハビリテーションサブクラスタによると、継続したケアが必要な患者は1,000人以上である。このうち700～800人が入院ケアを必要とし、多くが整形外科治療を必要としている。また、脊髄損傷患者が200人以上おり、多くの患者に神経障害がみられる(WHO, 5/13)。 退院患者へのリハビリテーション支援が緊急に必要である。 保健クラスタは、リハビリテーションとナーシングケアのための保健施設を調査している。 <p>感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> 5/13時点で感染性疾患のアウトブレイクの発生はないと報告されたが、5/14にRasuwa郡で下痢症のアウトブレイク疑いが報告された。郡のヘルスオフィスは被災地域に早期対応チームを派遣した。 保健人口省は、WHOの支援を受けて感染性疾患の早期対応警告システムを立ち上げた。さらに、全被災地域に可能性のある疾病アウトブレイクの防止/対応のために早期対応チームを派遣した。 <p>女性と子どもの健康</p> <ul style="list-style-type: none"> 20万人の子ども、妊婦、授乳中の母親に、包括的な栄養補給プログラムが必要である(5/1～継続)。 技術をもっている栄養スタッフがコミュニティレベルで不足している。 急性と中等度の栄養失調スクリーニングが継続されている。 55人以上のヘルスワーカーがコミュニティベースの急性栄養失調管理の訓練を受けた(5/18)。 19のリプロダクティブヘルス(性および生殖に関する保健)キャンプが6地区(Kavre, Rasuwa, Makawanpur, Lalitpur, Kathmandu, Bhaktapur)で実施され、3,009人の女性(成人、小児)が性と生殖の保健サービスを受けた(5/18)。 10地区以上の17,750人の女性に、自宅やキャンプでの分娩後出血を防ぐためのミソプロストール剤を配布した。また、3,200人の妊婦に新生児敗血症を防ぐためのクロールヘキシジンを配布した(5/18)。 地域言語を用いた女性と子どもの心理社会的サポートが求められている。 <p>メンタルヘルス</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎日、30～40人がサービスを求めている郡に、包括的なメンタルヘルスや心理社会的サービスを提供するため、医療チームがDhading郡の病院に派遣された(5/18)。 	
被災された方々の生活状況	
<p>食糧・水・衛生</p> <ul style="list-style-type: none"> 推定350万人以上に食糧支援が必要で、特に140万人が優先的に必要である(4/30～継続)。 	

- ・ 5/11までに11の優先地区の731,180人に食糧が配給された(5/11)。
- ・ 66～130万人が水源に影響を受け、85～150万人に衛生支援が必要と見込まれている(5/15)。
- ・ 5/13時点で、水と衛生クラスタパートナーは水を470,984人に、公衆衛生サービスを29,059人に、衛生メッセージおよび物資を312,564人に届けている(UNICEF, 5/13)。

生活環境の安全性

- ・ 廃棄物マネジメントの仕事をした地域の人々は、続く余震による危険性がある。

必要な救援物資と配布状況

- ・ 防水シートと毛布のニーズが継続している。
- ・ 地方への物資の輸送は厳しい状況が続いている。
- ・ カースト制度や宗教による支援の不平等な分配が報告され続けている。
- ・ 国家人権委員会の報告によると、遠方地域に住んでいる人々より幹線道路の近くに住んでいる人々の方がより多くの救援物資を受け取っている。さらに、救援パッケージは直接住民に渡されず、中心部の住宅所有者に配布されている。

生計/仕事

- ・ 5/11時点で、今後2週間以内にもみ種と苗床の配布が必要であり、5/15時点で緊急農業物資の統合パッケージ(種もみ、キビの種、野菜の種、肥料、家畜飼料、穀物保管用袋、家畜保護のための防水シート)が2万世帯に届けられた。
- ・ 必要な農業用具の提供ができなければ、6地区(Sindhupalchowk、Nuwakot、Dhading、Gorkha、Rasuwa、Dolkha)の100万人が来年には食糧危機となる。

子どもの教育

- ・ 被災地域の学校評価と全壊した学校に一時的な学習スペースを提供しない限り、最低950,000人の子どもが学校に戻ることができない(5/8～継続)。
- ・ 5/12の地震により、Sindhupalchowk、Dolkha、Ramechhapの追加した教育施設が破壊された。
- ・ 閉鎖されている24,974の教室が全壊し、9,986の教室が部分的に損壊した(5/15)。
- ・ 校舎の建物調査は、Lalitpur、Bhaktapur、Kathmanduで実施中である。
- ・ 9地区(Sindhupalchowk、Dhading、Nuwakot、Kavre、Gorkha、Sindhuli、Kathmandu、Lalitpur、Bhaktapur)で、5,800人の子どものために58のGFSを立ち上げている(5/18)。
- ・ 政府は、5/29まで被災地域の学校を閉鎖したままにすることを発表した。

復旧・復興

- ・ 5/11時点で、推定2,700万m²の廃棄物の処理、壊れた建物の取り壊しが急務である。
- ・ 5/12の地震により、Dhulakha郡のCharikot、Sindhupalchowk郡のChautaraが深刻な被害を受け、除去する必要がある廃棄物が増えた。

保健・医療サービスの状況

- ・ 地震前に緊急産科・婦人科・新生児科のサービスを提供していた14地区の351施設のうち、112施設が深刻な被害を受け、144施設が部分的に被害を受けた(5/18)。
- ・ 屋外で診療している病院への水と衛生の支援の要求が増加している。
- ・ モンスーン季節(雨季)の前に、プライマリヘルスケアサービスの復旧が必要である。現在は、4地区(Bhaktapur、Kathmandu、Gorkha、Dhading)で、家を失った人々に移動式医療ユニットを介

してプライマリヘルスサービスを提供し、5/18までに988人を診察した(5/18)。

- ・ 72の海外医療チームが撤退し、国内には66チームだけが残っている(5/18)。

ロジスティック

- ・ Kathmandu 国際空港は、支援カーゴを運搬する飛行機の着陸時間によって制限されており、6:00～10:00と18:00～0:30の時間帯が着陸可能である。この制限は人道支援の飛行機にも適用される。
- ・ 5/12の地震により影響を受けたいくつかの地域では地滑りが発生しやすく、道路のアクセスや運搬が制限されている。
- ・ ネパールの8か所(Kathmanduの人道支援中継拠点とUN事務所、Deuraliの人道支援中継拠点、GorkhaとChautaraの人道支援ハブ、Bharatpurのロジスティックハブ、BidurとAarughatのNGOハブ)に緊急通信クラスタサービスを提供している。

※ これらの情報は、主にUNOCHAのSituation Reportからまとめています。

【引用文献】

UNOCHA

United Nations Office for the Coordination of Humanitarian Affairs and Office of the Resident and Humanitarian Coordinator in Nepal. Nepal: Earthquake 2015 Situation Report

No.13 (as of 11 May 2015)

<http://reliefweb.int/report/nepal/nepal-earthquake-2015-situation-report-no-13-11-may-2015>

No.14 (as of 13 May 2015)

<http://reliefweb.int/report/nepal/nepal-earthquake-2015-situation-report-no-14-13-may-2015>

No.15 (as of 15 May 2015)

<http://reliefweb.int/report/nepal/nepal-earthquake-2015-situation-report-no15-15-may-2015>

No.16 (as of 18 May 2015)

<http://reliefweb.int/report/nepal/nepal-earthquake-2015-situation-report-no16-18-may-2015>

World Health Organization SEARO

WHO Nepal Earthquake Health Update - Situation Report

No. 14: 11 May 2015

<http://www.searo.who.int/entity/emergencies/crises/nepal/who-sitrep14-11-may-2015.pdf?ua=1>

No. 15: 13 May 2015

<http://www.searo.who.int/entity/emergencies/crises/nepal/who-sitrep15-13-may-2015.pdf?ua=1>

No. 16: 15 May 2015

<http://www.searo.who.int/entity/emergencies/crises/nepal/who-sitrep16-15-may-2015.pdf?ua=1>

UNICEF

UNICEF Nepal Humanitarian Situation Report 10, 13 May 2015

<http://reliefweb.int/report/nepal/unicef-nepal-humanitarian-situation-report-10-13-may-2015>